

答申にあたって（案）

府中市生涯学習審議会（以下、「審議会」という。）は、府中市教育委員会から平成29年4月26日付で、「平成31年度を初年度とする第3次府中市生涯学習推進計画に関する基本方針及び計画素案を策定すること」という諮問を受けました。

私たち審議会は、全11回の会議を開催し、府中市の生涯学習の現況や生涯学習施策などについて事務局の報告を聞くとともに、市民意識調査や生涯学習系施設等へのヒアリングの結果から読み取れる府中市の課題や特徴について審議しました。

府中市は、平成17年3月の第1期生涯学習審議会提言で、本市独自の生涯学習の理念である「学び返し」という考え方を提示し、それは第2次府中市生涯学習推進計画にも引き継がれています。第2次府中市生涯学習推進計画は、生涯学習の活動を、学ぶだけでなく、そこで身につけた力を地域や社会に還元していくことまで拡大した点や、「学び返し」を地域で進めていく上で、地域の担い手としての生涯学習ファシリテーターを育成・活用するとし、そこを中核とした市民が主役の自立的な生涯学習のあり方を構想していた点においても、国の考え方に先行した先駆的なものとなっています。

第2次府中市生涯学習推進計画期間中の本市の生涯学習活動については、指定管理者制度の導入や生涯学習ボランティアなど民間活力の活用が順調に進んだことから、府中市生涯学習センターを中心に極めて活発な活動がみられ、本市ならではの「学び返し」による生涯学習の広がりには、さらなる可能性があるものと考えております。本審議会では、これを踏まえ、人生100年時代にふさわしい生涯にわたる「学び返し」活動を、本市の市民協働の精神に基づきさらに発展させていくことで、市民一人ひとりの生活の充実に加え、本市ならではの特色ある豊かな地域づくりを図っていくべく審議を重ねました。

以上を踏まえ、本審議会において作成しました第3次府中市生涯学習推進計画案を別紙のとおり答申いたします。

府中市教育委員会におかれましては、本答申の内容を尊重し、国等の動向を十分に認識しつつ計画を策定され、今後の生涯学習施策の推進を図られますよう期待いたします。

府中市生涯学習審議会

会 長	寺谷 弘王
副会長	三宅 昭
委 員	木内 直美
委 員	佐野 洋
委 員	長畑 誠
委 員	中西 裕子
委 員	忍足 留理子
委 員	奥野 英城
委 員	岩久保 早苗
委 員	相馬 一平
委 員	大谷 久知
委 員	中村 洋子
委 員	北島 章雄
委 員	岸 定雄
委 員	関口 美礼
委 員	西原 珠四